

電友会

# 会員の皆さんへ

令和2年1月号

発行者 電友会本部  
東京都新宿区西新宿3-19-2  
NTT東日本本社ビル内  
TEL 03-5359-6969  
発行責任者 電友会本部  
理事 事務局長 青野 信 雄

## 第29回電友会ボランティア活動賞・第5回電友会ボランティア活動功労賞表彰式

令和元年11月20日（水） 於 KKR ホテル東京（東京 大手町）



坂本NTT取締役  
総務部門長の祝辞



三浦NTT特別顧問の祝辞



鈴木会長あいさつ

### ごあいさつ

ボランティア活動は電友会のフラッグシップの活動として、会員の社会貢献の熱意と行動力の現れであります。この規模で、この多分野で、この深さで展開している組織は他になく、私はその一員であることを誇りに思っています。

今年度、ボランティア活動賞の表彰となりました素晴らしい業績は、伝統芸能・武術の継承、地域の環境保全・防災に至る郷土愛の発露、子供たちの見守り、年長者への思いやり・慰問、障がい者のサポートなど心を込めた行動、その延長に海外に支援の手を差し伸べている事例など、活動内容を拝見すると他のために尽くす「こころ」に満ちていることに感動し敬服いたします。ボランティア活動は既に電友会の特徴として内外に強い印象を与えてきましたが、さらに皆様のおかげで新たな成果が加わりました。

ボランティア活動功労賞の皆様には、電友会の隆盛の維持・向上に大きく貢献いただきました。会員への健康相談を長期にわたり続けていただいた小西先生をはじめ、他組織との連携、事業の財務・施設・運営に関する改善策の遂行、催し物の発案・実施、NTTへの協力、会員の近況確認のための訪問、葬儀へ参列し弔辞を読むなど、仲間を大切に「こころ」を持って会をリードし支えていただいたおかげで今日の電友会があることに深く感謝申し上げます。

ここで改めてボランティア活動の今日的意義を考えてみましょう。NTTグループの経営方針にはESG/CSRが掲げられており、社会の課題を解決し、より豊かな社会を作っていくには、企業や産業の壁を超える共創によってスマートな世界を目指すと言われていきます。この共創即ち複数の参加者が力を合わせ新しいものを創り出すことを可能とするのは参加者が共感しつながっていく「こころ」であります。電友会のボランティア活動はまさにそれを実践しているものであり、NTTグループの社会への貢献の一角を担う用意は十分にあると思われまします。

ちなみに、この趣旨についてシニアの就労支援を行っている「アクティブシニア支援機構（ASO）」のオープンイノベーション研修会での森川教授の解説を引用すると「あなたの本当の価値はどれだけ多く受け取る以上のものを与えるかによって決まる」「あなたが人に与えることができる最も価値ある贈り物はあなた自身である」の心構えを持つことである。電友会のボランティアはまさにこの心意気で活動いただいております。

先日「全国女性の会」での農業の課題解決に向けたNTTドコモ・アグリガールの活動事例、各方面からのICTの協力要請などは電友会の有する人材に新しい貢献の場を開くものです。これから色々なプロジェクトの形をとって我々のネットワークが広がっていくと期待されます。目を見開いてみれば世の中には共感、共助、共創の手を差し伸べ、また模範を示してくれる人々がいます。

ボーとして生きてきたと思いが知られることがありますが、ボランティア表彰との出会いが自分の考えを改める反省のきっかけとなっています。ボランティア活動に模範を示していただいた皆様からしつかり学び取らせていただき、人生100年時代にはシニアはアクティブでなければならぬという想いで、何ができるか手探りを続けていきます。

令和元年十一月二十日

電友会会長 鈴木 正 誠

### 《表彰式》

表彰状授与



坂本様より澤田NTT社長からのお祝い品の贈呈

受賞者代表謝辞